

自然と対話し、ともにかかわり合いながら、科学的に考える力を育む理科学習

第3学年「植物をそだてよう（2）」

武雄・杵島支部 泊 裕人

1 単元計画

【単元の目標】

○植物の成長の変化に興味をもち、育ててきたヒマワリとホウセンカの観察を通して、植物の体は、葉、茎、根からできていることを知る。また他の植物とも比較して調べ、植物の体は、葉、茎、根という共通のつくりをしていることをとらえることができる。



【単元の流れ】


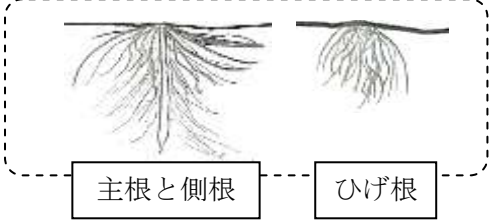
- (1時) 校庭の植物を見つけに行く
- (2時) 植物の育ち方を観察する (葉, 茎)
- (3時) 植物の育ち方を観察する (根)
- (4時) 植物の体のつくりに着目し、なかま分けをする … (本時)

2 本時の目標

・植物の体のつくりを目に向け、なかま分けをすることができる。

3 授業の実際 (4 / 4)

過程	主な学習活動	指導上の留意点
つかむ / 調べる	1 前時までの活動をふり返り、4種類の植物を見る。 	○植物の体について、簡単にふり返らせる。 ○4種類の植物を提示し、じっくり観察するように伝える。 ○共通点などを見つけている児童の発言を、全体に紹介する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">植物のなかま分けをしよう</div>	
わ か か る	2 仲間分けのやり方についての説明を聞く。	○葉・茎・根をくらべること、同じ部分や違う部分を考えることなどを意識させる。 ○友達と相談しながら仲間分けさせる。 ○仲間分けが終わったら、そのポイントについてワークシートに記入させる。
	3 植物の仲間分けをする。 	○各グループに植物を1セットずつ与え、さまざまな特徴をもとに仲間分けをさせる。 ○仲間分けの観点が偏らないように、植物のいろいろな部分に目を向けさせるようにする。 ○『根、茎、葉がある』という仲間分けしないグループが1つできるようにしておく。

<p>まとめ</p>	<p>3 仲間分けクイズに答える。</p> <p style="text-align: center;">仲間分けのライン</p> <p>【問題】</p>  <p>4 植物の体のつくりについてまとめる。</p> <p>5 ふり返りを行う。</p>	<p>◇植物の体のつくりを目を向け、なかま分けをすることができたか。(ワークシート)【技】 →着目する部分をはっきりさせ、共通点や差異点を考えさせる。</p> <p>○教室の中央に仲間分けしたものを置かせ、全員で見ながら仲間分けの観点を考えさせる。</p> <p>○グループで話し合いを行い、紙に記入させておき、発表の時に使用させる。</p> <p>○全員に仲間分けの様子が伝わるように、画像をスマートボード上に提示する。</p> <p>【あるグループの答え】</p>  <p>○植物によって形は違うものの、すべてに根、茎、葉が存在していることを押さえる。</p> <p>○身の回りにある植物の体のつくりにも興味をもてるように、身近な植物についての話をする。</p>

4 成果と課題

○第4時の終末に、第1時で提示したヒマワリとホウセンカを再提示し、絵と解説文を書かせた。第1時目と比べると、体のつくりの特徴をつかめるようになってきた。さまざまな観点から植物を観察できるようになり、より正確に、詳しくとらえる力が身についてきた。また、見えない根についてもイメージできていた。



第4時での絵と解説文

○児童にとって近くて遠い存在であった日常目にする植物が、この取り組みにより、その距離を縮めることができたと考える。また、事象の提示を授業終末で行ったことで、児童の植物の見方を広げ、植物に対する認識の深まりにつながったと考えている。

○絵図を用いることにより葉の形や茎の特徴が強調された。このため、話し合いの際に解釈したことが学級全体で共有されることとなり、これが、仲間分けの見方に対して納得の度合いを高めていこうとする姿につながった。

●学習内容と生活とのかかわりをさらに深めるような取り組みを模索していく必要がある。